

博士課程教育リーディングプログラム 平成29年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
機関名	慶應義塾大学	全体責任者（学長）	長谷山 彰
類型	複合領域型（環境）	プログラム責任者	青山 藤詞郎
整理番号	B04	プログラムコーディネーター	清木 康
プログラム名称	グローバル環境システムリーダープログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムは、実世界の環境である“実環境空間”を監視・制御するハードウェア技術と、環境変化の原因・影響を計量する“情報環境空間”を連結・連動させる技術と社会ルールにより、グローバルな環境変化を発見、分析、対応するグローバル環境システムを創出できる人材育成を目的として、環境、エネルギー、ICT、政策、国際関係、社会システムの各専門領域を統合し、全学的国際化体制の下でグローバル環境システムの実現を先導する未来社会創造型のリーダーの育成拠点を形成するものである。そのために、本プログラムは、産業界、海外連携・提携機関、国際機関、および、NPOの専門家を含む“国際産・学・NPO連携研究指導體制”、国際的高水準の学修・研究指導の連携先機関、および、実際の環境問題を抱える地域の連携機関とした“国際トレーニング制度”、および、“遠隔コラボレーション・システム”の3本柱を有する学位プログラムを構築することにより、俯瞰力と独創性を備え、技術と社会ルールの知識と設計能力を有する“グローバル環境システムリーダー”を育成する。

2. プログラムの進捗状況

本プログラムは、延べ合計88名（修士52名、博士36名）の学生を受け入れ、そのうち、平成30年3月修了者の6名を含む、15名の博士課程修了者を輩出した。修了者の就職先の内訳としては、国内大学/研究機関6名、国内企業4名、海外大学2名、海外企業1名、就職活動中2名であり、本プログラムにより、約20%の修了者がグローバルなキャリアパスの構築に成功し、また、約33%の学生が企業へのキャリアパスを構築した。本プログラムの中心となる国際産・学・NPO連携研究指導體制では、平成29年度終了時点にて海外13か国30機関、国内7機関とのMOUを締結し、これらの連携・提携機関の研究者109名を学外研究指導者（国際機関4名、官公庁1名、海外企業3名、国内企業16名、海外研究機関6名、国内研究機関7名、海外大学68名、国内大学4名）とした教育・研究を実現した。また、国際トレーニング制度では、連携・提携機関へ延べ65名の学生を派遣し、連携・提携機関から4名の学生を本プログラム学生として受け入れ、双方向、かつ、継続的な共同教育・研究を実現した。これにより、計画調書での申請内容の通りに本学位プログラムの整備を完了した。平成30年度以降も、本プログラムを、技術と社会ルールの知識と設計能力を有する“グローバル環境システムリーダー”を育成する大学院プログラムとして、継続的に運営している。

（機関名：慶應義塾大学 類型（領域）：複合領域型（環境） プログラム名称：グローバル環境システムリーダープログラム）